

# シャントイ山口 ニュースレター 第70号

発行：2009年7月7日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャントイ山口 代表 角 直彦  
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083  
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

## 平成 21 年度助成金交付決定

### 「今井記念海外協力基金」（継続 2 年目） ・ 「地球環境基金」（継続 3 年目）

昨年に引き続き今井記念海外協力基金 2 年目、と地球環境基金 3 年目最終年度が決定し、すでに現地での調査に取り掛かっています。

「何よりも喜んでいるのは、現地の子供たちを始め村の人達です。」

「今度は、うちの村だよネ！」と、注目しながら待ち続けています。昨年までの実施状況を見つめながら待ちに待った朗報を村に伝えしました。

### 「ナムカー村」と「プラチャーパクディー村」

施工予定の村 2 か所のうち次の理由により「1 か所変更？」を余儀なくされた。！！

1. ナムカー村は、タイ行政の指導で小学校が廃校になる。（校舎・保育園棟の長屋は存続）このことにより家族も一部、山を降り（日常生活は、定住地で）農繁期のみ山での暮らしとなる。（先生関係者 5 人→保母さん 1 人。合計 5 1 人→1 3 人となること。）
2. 保育園の手洗い場が、行政の経費で今年度予算化されたこと。（トイレも修理費予算化の可能性のあること。）
3. 少人数になったことからガスの発生が危ぶまれ使用効率が低いこと。
4. 共同トイレとしての必要性も減少したこと。
5. ナムカー村住民と長年交流する中、環境保全・衛生面については、知識必要性について理解があり、基礎知識は、浸透していること。

### 「ナムカー村」中止 ⇒ ⇒ 「ホイプム村保育園に」

現地訪問調査の結果ナムカー村は、中止とし、変更を決定することとしました。

ホイプム村は、現在施工中のプラチャーパクディー村から南東に 25 km のラオス国境沿いに位置し、世帯 50 軒人口 300 人の村で主要道路から離れ山道の悪路で雨期には、車の通行ができず、荷物（収穫物や資材）の運搬は、この期を外し乾期に集中して行っています。

農作物も出荷用には、収穫時期を調整して、種まきなどを行うなど生活も不安定です。

保育園も、3 年前バンコクの学生ボランティア（タマサート大学）が寄付を募り休暇を利用して村人と一緒に建設した、壁もない（雨をしのぐだけの）粗末な狭い小さな設備です。園児は、40 人正式な先生（保母さん）が、いないため村で知識のある年輩の女性 2 名が従事していますが衛生面や給食など、まともな保育もできていない粗末で劣悪な状況です。

## 「ホイプム村保育園」



全景



お昼の給食中



洗面・手洗い場



トイレ



トイレ内部（大人用のため危険）

## 「プラチャーパークディー村保育園」



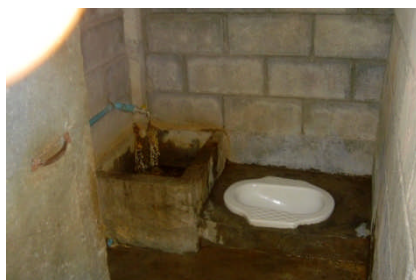
全景



給食棟



トイレ



—環境衛生活動募金にご協力をお願いします。—